

# 伸びる子

やさしく (愛いっぱい)  
かしこく (夢いっぱい)  
たくましく (元氣いっぱい)

令和7年  
5月16日  
五島市立  
奥浦小学校  
文責 橋詰絵

第3号



## 「伸ばす子」の魔法の言葉

### 「大丈夫だよ」

小学校で学ぶ教科の中で、家庭科は調理をしたり裁縫をしたりと実技が多く、子どもたちも大いに楽しみにしている教科です。先日五年生も六年生も調理実習を行いました。

五年生は初めての調理実習です。

野菜をゆでて食べるという授業。

ちよっとお邪魔させてもらいました。

包丁の使い方などかな、と思いながら

ら見ていると、意外と上手に使うこ

とができる子供が多

くいました。ご家庭で一緒に台所に

立っている姿が目には浮かびました。

できあがったゆで野菜を美味しそう

に食べていました。



六年生の調理実習にもお邪魔させてもらいました。いろいろな切り方で切った野菜を野菜炒めにしていただくという授業でした。いちよう切りにしたり、短冊切りにしたりするなかで、中々思うように切ることができず、「あっ」とか、「しまった」という声思わず漏れていました。そんなとき、同じ班の

仲間が「大丈夫だよ」と声をかける姿が見られました。声をかけられた人は安心して野菜を切る作業を続けることができました。

「大丈夫だよ」の声も何度も聞かれました。子どもたちはとても良い雰囲気の中で、安心して実習をすることができました。



たった一言の「大丈夫だよ」という言葉。言われた人は、その一言に勇気ももらい、自信を深めることができました。「伸びる子」と「伸ばす子」の素晴らしい姿を見せてもらいました。これからもこんな言葉が自然にどんどん出てくる子供たちの関係になってほしいと願うばかりです。

できあがった料理は私もご相伴にあずかりました。料理の味付けは最高でしたが、さらに「大丈夫だよ」という優しさの調味料がかかった料理は塩こしょう以上の効果があり、とても美味しく、そして心も豊かになる味わいでした。最高の料理、ごちそうさまでした。

## 先輩、ありがとうございます。～卓球台を寄贈していただきました～

昨年度、本校の卒業生の「浦様」から、手作りの卓球ラケット、ピンポン球、簡易のネットをいただきました。雨の日など、体育館使用でない学年の子どもたちはそれを使い、卓球に親しんできました。

先日、新たに卓球台を2台寄贈していただきました。この卓球台も手作りで、なんと、折りたたみ式で、使わないときはコンパクトに収納ができるように作られていました。

56年生が学校を代表して受け取りました。その後浦さんが見ている前で卓球をしました。最初は緊張して中々声も出なかった子どもたちでしたが、ゲームを



しているうちに次第に声も大きくなり、夢中で遊び、その姿を浦さんもとてもうれしそうに見られていました。

「卓球を通じてコミュニケーション力を伸ばしてほしい」「仲間を作ってほしい」というのが、浦さんの願いだそうです。(卓球のさらなるメジャー化も)

地域の先輩方からもこのような素晴らしい経験をいただき、奥浦の子どもたちは本当に幸せだと思いました。(この日はNIBの取材も入り緊張しました。放映日等わかりましたらお知らせします。)

